

2006年10月31日

各 位

株式会社メイテック
 代表取締役社長 西本 甲介
 東京都港区赤坂8丁目5番26号
 (コード番号9744 東証・名証第一部)
 (URL <http://www.meitec.co.jp>)
 問合せ先 広報部長 足立 博之
 (TEL 03-5413-2600)

特別損失の計上に伴う業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2007年3月期中間期において、当社の連結子会社である日本ドレーク・ビーム・モリン株式会社ののれんを減損損失として特別損失に計上することいたしました。それに伴い、2006年8月22日(火)に公表した2007年3月期(2006年4月1日～2007年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

1. 2007年3月期中間業績予想数値の修正(2006年4月1日～2006年9月30日)

<連結>

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	42,000	5,850	5,850	2,300
今回修正予想(B)	42,000	5,850	5,850	-2,000
増減額(B-A)	0	0	0	-4,300
増減率(%)	0	0	0	-
(ご参考)前期実績(2006年3月期)	40,723	5,935	5,996	3,250

<単体>

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	30,700	5,250	9,700	-3,250
今回修正予想(B)	30,700	5,250	9,700	-2,720
増減額(B-A)	0	0	0	530
増減率(%)	0	0	0	-
(ご参考)前期実績(2006年3月期)	30,365	5,378	5,729	3,422

2. 2007年3月期業績予想数値の修正(2006年4月1日～2007年3月31日)

<連結>

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	83,800	12,000	12,000	5,700
今回修正予想(B)	83,800	12,000	12,000	1,400
増減額(B-A)	0	0	0	-4,300
増減率(%)	0	0	0	-75.4
(ご参考)前期実績(2006年3月期)	83,223	12,485	12,562	5,302



<単体>

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	61,800	10,650	15,650	500
今回修正予想(B)	61,800	10,650	15,650	1,030
増減額(B-A)	0	0	0	530
増減率(%)	0	0	0	106.0
(ご参考)前期実績(2006年3月期)	61,425	11,131	11,556	6,820

3. 修正の理由

<連結> 日本ドレーク・ビーム・モリン株式会社のれんの減損損失による影響

当社の連結子会社である日本ドレーク・ビーム・モリン株式会社の米国子会社 Novations Group Inc. を 2006 年 8 月 21 日に売却したことに伴い、監査法人との協議により、減損テスト（決算期毎に実施している当社グループの超過収益力の判定。当期については、Novations Group Inc. 売却に伴い、2007 年 3 月期中間期に日本ドレーク・ビーム・モリン株式会社の再テストを実施）を実施いたしました。その結果、日本ドレーク・ビーム・モリン株式会社のれんを 4,292 百万円減損処理し、特別損失として計上いたします。

なお、今回の減損処理により、日本ドレーク・ビーム・モリン株式会社のれんは 572 百万円となります。

2006 年 3 月末 日本 DBM のれん額 ①	4,939 百万円
2007 年 3 月期中間期 日本 DBM のれん償却額 ②	74 百万円
2006 年 9 月末 日本 DBM のれん額 ③ (※)	572 百万円
2007 年 3 月期中間期 減損損失額 ①-②-③	4,292 百万円

※③は日本 DBM 社の直近 5 年間分の超過収益力の現在価値を基準としております。

<単体> 日本ドレーク・ビーム・モリン株式会社の株式評価損の修正

当社は、日本ドレーク・ビーム・モリン株式会社の減損テストの結果を踏まえ、2006 年 8 月 22 日に公表しております、日本ドレーク・ビーム・モリン株式会社の子会社株式評価損 10,426 百万円を、9,896 百万円へ上方修正いたします。

2006 年 8 月 22 日公表 日本 DBM 株式評価損 ①	10,426 百万円
2006 年 10 月 31 日公表 日本 DBM 株式評価損 ②	9,896 百万円
日本 DBM 株式 上方修正額 ①-②	530 百万円

4. 2007 年 3 月期中間、期末配当金について

今回の連結当期純利益の下方修正および単体当期純利益の上方修正要因は、連結キャッシュフローへの影響は軽微なため、2007 年 3 月期の配当金につきましては、従前予想であります 1 株当たり年間 89 円(中間:44 円、期末:45 円)を変更いたしません。

(注) 本業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上